

第2次焼津市環境基本計画の平成25年度取組結果

基準年度：平成23年度

計画期間：平成25年度～平成34年度（10年間）

焼津市環境部環境生活課

※次ページ以降の四角い囲みの中の、◇は取組項目、◆は重点取組項目、○は取り組んだ事業です。

目 次

環境目標 1 安全・安心なまちをつくる

1 水がきれいなまち	1
2 空気がきれいで静かなまち	2
3 有害化学物質による汚染や公害のないまち	2

環境目標 2 自然共生社会をつくる

4 森林や農地を守るまち	3
5 河川・海岸と水資源を守るまち	4
6 多くの生き物・自然とふれあえるまち	5

環境目標 3 循環型社会をつくる

7 廃棄物の少ないまち	6
8 廃棄物が適正に処理されるまち	7

環境目標 4 低炭素社会をつくる

9 エネルギーを有効利用するまち	8
10 低炭素な交通と緑豊かなまち	9

環境目標 5 総合的に取り組みを進める

11 環境を知り・学び・活動するまち	10
12 環境と経済が両立するまち	11

環境目標

1 安全・安心なまちをつくる

取り組み方針

1 水がきれいなまち

環境課題

・生活排水の処理率が低いことや、中小事業所からの排水などにより、公共用水域の汚濁が一部で発生しており、公共下水道や合併処理浄化槽などの整備や事業所排水の監視・指導が必要
・水生生物による水質判定などにより河川水質への関心を高めたり、廃食用油の回収や環境負荷の少ない石鹼等の使用により、水を汚さない取り組みの普及が必要

取組状況

①排水をきれいにする

◆公共下水道整備の計画的推進《重点》

○公共下水道汚水管渠の整備(施工予定の延長0.9kmを施工)

◆合併処理浄化槽への転換促進《重点》

○小型合併処理浄化槽の設置補助(予定480基を上回る483基実施)

◇生活排水による水質汚濁防止の啓発

○小型合併処理浄化槽の設置補助者483人に適正な維持管理(点検・清掃・法定検査)を啓発

②水質を監視する

◇定期的な水質測定監視

○河川水質測定調査を毎月6カ所12回、隔月21カ所6回実施

◇県との連携で事業所立入調査を実施し排水の監視指導

○規制対象事業所等の立入調査を65事業所に対し実施

◇河川・水路の清掃の実施

○地元要望箇所や河川パトロールで確認した土砂堆積箇所の浚渫を実施

○環自協を通じ小河川・水路等の清掃を実施(揚土、川藻等を土嚢袋55,668袋分)

◇河川への不法投棄防止

○7月に二級河川と準用河川のパトロールを実施し不法投棄物を撤去

○6月と12月に環自協と協力し市内全域で不法投棄防止パトロールを実施

○不法投棄監視員による監視パトロール及び投棄物の回収を実施

環境目標

1 安全・安心なまちをつくる

取り組み方針

2 空気がきれいで静かなまち

環境課題

- ・大気汚染、騒音の低減のため、発生源の事業所の監視指導や低公害車の普及促進
- ・野焼き禁止の周知徹底や監視指導の強化
- ・水産加工場からの魚臭の対策強化
- ・近隣騒音の未然防止やコミュニケーションの促進

取組状況

①大気汚染・悪臭への対策をする

◇県との連携で事業所立入調査を実施し大気汚染発生源の監視指導

- 規制対象事業所等の立入調査を29事業所に対し実施

◇小型焼却炉や野焼き行為の監視指導

- 野焼きの苦情に伴い指導を実施(33件)

◇低公害車・低燃費低排出ガス車の導入を促進

- 公用車はすべて低公害車(燃費基準達成車)を購入(14台)。購入率100%

②騒音・振動への対策をする

◇騒音発生源の事業所等への監視指導

- 苦情に伴い、発生源への指導を実施(27件)

◇アイドリングストップや急発進抑制などエコドライブの実施

- 焼津市役所地球温暖化防止実行計画に基づきエコドライブを推進
- 公用車運転日誌や庁内掲示板で啓発

◇公共工事に伴い発生する騒音・振動の低減

- すべての発注工事において低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械を使用(使用率100%)
- 工事担当者による使用状況の確認を実施

環境目標

1 安全・安心なまちをつくる

取り組み方針

3 有害化学物質による汚染や公害のないまち

環境課題

- ・PRTR法の周知など化学物質の管理に関する意識啓発
- ・ダイオキシン類などの有害化学物質の定期的な測定監視
- ・放射性物質や放射線量の情報を開示し、常に国・県の動向を踏まえた対応が必要
- ・公害を未然に防止し、苦情が発生しないよう事業者との協定締結や情報提供、事業所と地域住民とのコミュニケーションの促進が必要

取組状況

①有害化学物質への対策をする

◇定期的な有害化学物質の測定監視

- 大気6か所及び河川水3か所のダイオキシン類調査を10月～11月に実施

◇県との連携で事業所立入調査を実施しダイオキシン類の監視指導

- 規制対象事業所等の立入調査を2事業所に対し実施

◇PRTR法について関係機関とともに周知

- パンフレットを課窓口に配置

◇国・県の動向を踏まえ、必要に応じて放射性物質や放射線量を測定し公表

- 市ホームページからPM2.5の県測定値へリンク設定し、基準値を超えた場合は防災無線で注意を促すこととした(基準値を超えたことはなかった)。

②公害を未然に防ぐ

◇環境調査の実施

- 大気・水環境などの定点において、定期的に調査を実施

◇公害苦情への速やかな対応と問題解決に向けた指導

- 処理(解決)済み率100%(苦情112件)

環境目標

2 自然共生社会をつくる

取り組み方針

4 森林や農地を守るまち

環境課題

- ・森林の機能が効果的に発揮されるよう適切に保全・管理する
- ・農地保全のため、担い手の育成や地産地消の推進などにより農業振興を図るとともに、市民農園など農地の有効利用の促進により耕作放棄地を解消する
- ・高草山周辺を中心に増加しているイノシシなどによる農作物の被害の対策

取組状況

①森林を守る

◇高草山周辺など自然環境豊かな地域の環境保護

- 森林保全のため、坂本地区治山工事を実施
- 森林保全のため、地元と市による巡視活動を実施

◆森林の適正管理について方向性を示し、所有者等が行う森林整備を指導《重点》

- 森林づくり県民税を活用し、地元主体で森の力再生事業(県事業)を実施
(関方地区0.24haの放置竹林の解消事業)

②農地を守る

◇農地の保全

- 農業振興地域整備計画の適正管理及び農用地利用計画の随時変更の実施

◆市民農園の整備・利活用の推進《重点》

- 市民農園入園者の募集(市内14カ所、目標利用者率90%)

◇農業体験教室の実施

- お米を知らうコース4回(田植え、草取り、稲刈り、餅つき)参加者52人
- 野菜を作ろうコース3回(サツマイモ、枝豆、キャベツ、トウモロコシなど)参加者35人
- 東益津公民館のマイライス事業8回(粳まき～米粉料理)参加者親子15組計47人
(協力スタッフを含め延392人が参加)

◇地産地消の促進

- 市内直売所及び市役所本庁舎等に「農作物ガイドマップ」を配架しPR
- 各種イベントに参加し、市内直売所及び農作物をPR

◆エコファーマーの育成・環境保全型農業の推進《重点》

- 環境保全型農業支援事業を推進(10経営体30haの実施計画を受付)
- 使用済農業資材回収事業の実施準備

◇イノシシなどによる農作物被害防止のため、有害鳥獣対策の適正な推進

- イノシシ27頭を捕獲

◆耕作放棄地の農地再生支援《重点》

- 耕作放棄地解消事業 藤守地区7.7ha実施

環境目標

2 自然共生社会をつくる

取り組み方針

5 河川・海岸と水資源を守るまち

環境課題

- ・生物の生息・生育地に配慮した護岸整備・管理
- ・海岸防災林の機能維持や深刻化している海岸浸食への対策
- ・雨水の地下浸透や節水を推進し、貴重な水資源の循環の維持
- ・海洋深層水を貴重な水資源として捉え、適正利活用に向けPRする

取組状況

①河川・海岸を守る

- ◇地域の特性を活かしながら、河川生物の生息・生育環境に配慮した河川整備を促進
 - 環境保全型ブロックを使用した水路改良工事を完了
- ◇国・県に、環境に配慮した海岸保全施設の整備を要請
 - 10月に国土交通省及び中部地方整備局への提言活動を実施
- ◆市民・行政の協働で海岸防災林の環境保全を図る《重点》
 - 地元と市で協力して森林保全のための巡視活動を実施
 - 松林の清掃・松の植林作業などの地域活動を支援し協働管理を実施
- ◇海岸防災林の機能維持を図る
 - 県道焼津大井川線沿いの「松の小径」の松の緑化維持・土壌改良工事を完了
 - 5月に松くい虫防除薬剤空中散布、2月に被害木伐倒駆除を実施。
- ◇海岸養浜事業の実施
 - 大井川港の航路浚渫工事(海上23,716m³)、海岸養浜工事(陸上11,021m³)を実施
- ◇港湾清掃や油流出に対応した防災訓練の実施
 - 港湾清掃を8月30日(参加者63人)と12月13日(参加者58人)に実施
 - 防災訓練を9月26日に実施、参加者61人

②水資源を守る

- ◇新設歩道の透水性舗装化の推進
 - 市道1160号(下江留～上泉・大井川西小付近)、1585号(吉永・大井川南小付近)で透水性舗装を施工
- ◇節水意識や雨水利用の啓発
 - 小学生対象のアースキッズ事業で節水意識を啓発
- ◇地下水の保全
 - 塩水化調査を毎月実施
 - 地下水採取量調査を1月に実施
- ◇海洋深層水の利活用促進と啓発
 - 深層水ミュージアムで学習会を1回開催。年間入場者数18,920人(年間目標20,000人)

環境目標

2 自然共生社会をつくる

取り組み方針

6 多くの生き物・自然とふれあえるまち

環境課題

- ・貴重な動植物の保護を行うとともに、外来生物に対しては駆除や防除を行い、地域の生態系を保全する
- ・情報提供や啓発を行い、身近な動植物への関心を高める
- ・自然とふれあえる場所や機会を増やし、利用されるようPRする

取組状況

①動植物を守る

◇野生鳥獣や貴重な動植物を保護

- 傷病鳥獣の保護活動を実施
- 指定文化財のマツの消毒を実施

◇市内の自然環境や動植物に関する調査、情報の把握と提供に努める

- 親子水生生物教室、瀬戸川動植物体験観察教室を開催し、参加者41人とともに動植物の情報を収集

◇空き地などで繁茂する外来生物の拡大を防ぐため土地管理者へ注意喚起

- 苦情の申し立て等により現地調査の上、所有者に適正管理指導(改善率80%)

②自然とふれあう

◇自然観察会の開催

- 親子水生生物教室と瀬戸川動植物体験観察教室を開催(参加者はそれぞれ16人、25人)
- 自然と触れ合いながら高草山清掃登山を実施(2回、延47人参加)
- 小川公民館の地元カワセミの会の協力で黒石川観察会を開催(子供14人、保護者5人参加)
- 自然や歴史を学習・体験するふるさとジュニアカレッジ開催(参加者はホテル観察会109人、川遊び自然体験74人)
- 焼津市の中学生が2泊3日の航海体験を通し海や大島の自然を体験(参加者36人)

◇栃山川自然生態観察公園の維持管理

- 都市公園指定管理者に委託し実施

◇高草山の公園やハイキングコースの管理・整備と花沢の里の保全活動

- 笛吹段公園、坂本いこいの広場、鳴沢滝不動緑地、ハイキングコース、花沢の里緑地、花沢の里にある観光駐車場、トイレの維持管理を、地元の自治会や団体と業務委託契約を締結し実施

◇海岸・河川等における環境美化活動の推進

- 県と連携したリバーフレンドシップ制度を活用し、河川の環境美化を推進
- やいづビーチクリーン大作戦で市内の海岸線の一斉清掃を実施

◇瀬戸川緑地の維持管理

- ふるさとの川瀬戸川、栃山川の環境管理業務を発注し、除草、消毒及び清掃を実施

◇漁港の多目的利用の促進

- 焼津漁港環境整備第10地区の通路、照明の整備を完了

環境目標

3 循環型社会をつくる

取り組み方針

7 廃棄物の少ないまち

環境課題

- ・可燃物量は減少しているが循環型社会の構築に向けさらなるごみの減量が必要
- ・燃やすごみに多く含まれる生ごみを減量するため、発生抑制や堆肥化に向けたシステムを構築する

取組状況

①ごみを減らす

◇ごみ処理施設の見学会を開催し、環境意識の向上を図る

- 施設見学を8回開催(参加者205人)

◆ごみ減量出前講座や説明会を開催《重点》

- ごみ減量説明会を31回開催(参加者2,525人)

◇小学生ごみ処理施設体験学習会を開催

- 夏休み親子社会見学を開催し、高柳清掃工場と志太紙業を見学(参加者は小学生13人、保護者9人)

◆ごみ処理費用や町内ごとのごみ量、他市町との比較などを公表し、ごみ減量意識の向上を図る《重点》

- 広報やいづへごみ減量関係の記事を掲載

②資源を再使用・再利用する

◇再使用できる製品を積極的に購入

- グリーン購入を推進(購入率98.7%)

◇放置自転車のリサイクル及び資源化を推進

- 撤去自転車219台の内53台を自転車商業組合志太支部焼津地区に販売

◇生ごみ処理機を活用し、生ごみの堆肥化を推進

- 学校給食組合において残飯等を堆肥化(実施率100%)

◆生ごみの再利用に関する各種施策を推進《重点》

- ダンボールコンポストを644個販売
- 藤枝特別支援学校で黒土を利用した生ごみ処理容器の試作品を製作

◆コンポストや生ごみ処理容器の普及を推進《重点》

- 生ごみ処理機器の購入の際の補助金を交付

◇剪定枝葉のチップ化等による資源化

- 可燃ごみ収集日に剪定枝・木くずの分別回収を実施(回収量1,346.2トン)
- 公共工事等で伐採した樹木のチップ化を行い資源化を推進
- 街路樹管理等で発生した剪定枝葉をチップ化し、マルチング材として植樹帯内や樹木の根元に敷設

環境目標

3 循環型社会をつくる

取り組み方針

8 廃棄物が適正に処理されるまち

環境課題

- ・ミニステーションのさらなる活用を図るなど、資源物を出しやすい環境をつくる
- ・全国的に予想される建設廃棄物の排出量の増加に対し、排出抑制や有効利用が必要
- ・清掃工場やリサイクルセンターが老朽化しており、適正な維持管理と新施設の整備が急務
- ・最終処分場の確保が困難な状況にあり、埋立処分からの転換が必要
- ・不法投棄防止のため市民への意識啓発や監視強化が必要
- ・ポイ捨てごみを無くすため、条例の周知徹底や環境美化活動を通じた意識啓発が必要

取組状況

①分別回収して資源化する

◇古紙回収を促進する古紙等資源回収奨励金を交付

- 広報やいづ等で集団回収実施団体を募集(107団体)

◆利用者の希望を反映したミニステーション運営・資源ごみ再利用の促進《重点》

- ミニステーションを市内4カ所で管理運営(収集実績:紙類1189.6t、缶類114.9t、ビン類264.4t、ペットボトル64.5t、廃食用油8,531ℓ)

◇容器包装プラスチック回収の推進

- 業務委託し分別回収を実施(回収量1,524t)

◇廃食用油のリサイクル推進

- 回収量28,350ℓ

②廃棄物処理を適正に行う

◇建設発生土の有効利用、特定建設資材の分別解体や特定建設資材廃棄物の再資源化を徹底

- 工事発注の市各担当課において、契約時の施工計画の確認を徹底するとともに、再資源化等に配慮するよう請負業者へ指導監督を実施

◇バイオディーゼル燃料をごみ収集運搬車両の燃料として使用

- 不燃ごみ収集運搬車両の燃料として使用(4,500ℓ)

◇下水道汚泥をセメント原料として利用

- 排出汚泥の全量(3,448t)をリサイクルした

③環境美化を推進する

◇環境美化推進条例の浸透やマナー向上の啓発、環境美化活動の企画・開催・支援

- ビーチクリーン大作戦の実施と地域清掃活動の支援

◇事業者への廃棄物適正処理指導

- 高柳清掃工場への搬入物検査の実施及び市民通報により事業者に必要な分別処分を指導(43件)

◇不法投棄防止に向けた監視、指導、啓発

- 不法投棄監視員による投棄物の回収や監視。6月、12月に環自協と協力し市内全域で監視パトロールを実施

◇環境美化活動の企画・開催・支援

- ビーチクリーン大作戦の実施と地域清掃活動の支援(再掲)
- 高草山清掃登山の実施(2回、47人参加)(再掲)

環境目標

4 低炭素社会をつくる

取り組み方針

9 エネルギーを有効利用するまち

環境課題

・家庭や事業所に太陽光・太陽熱などの再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、今後のエネルギー供給の見通しの不透明さから、できる限り地域エネルギーの確保を目指す
・省エネルギー型設備や低公害車を普及させ、エネルギーの効率利用を図る
・再生可能エネルギー及び省エネルギー施設や設備の導入、取り組みを市が率先して行い、市民・事業者への普及を図る

取組状況

①地球温暖化・エネルギー対策を総合的に進める

◇地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編、事務事業編)を推進

○エコアクション21に基づき、温室効果ガス排出量削減の取り組みを実施
(CO2排出量全体ではH21年度比3%減の目標を達成。ガス使用量、その他燃料使用量、紙ごみ排出量、事務用紙購入量は増加)

◇フロンガス類などの回収・適正処理を啓発

○リーフレットやホームページに適正な処理方法を掲載

②再生可能エネルギーを使う

◆家庭向け再生可能エネルギー(太陽光発電、太陽熱利用)の導入支援により普及促進《重点》

○住宅用太陽光発電システム設置支援事業を実施(補助金交付421件)

◆事業者向け再生可能エネルギーの導入支援の検討《重点》

○エコアクション21認証取得事業者へ、県の温室効果ガス削減対策事業費補助事業を周知

◇波力や風力など、焼津市の特性を活かした再生可能エネルギー導入の研究

○新聞記事、インターネットなどで情報収集。シンポジウムなどに参加

○新エネルギーの種類別に導入のメリット・デメリットを整理し検討

◆公共施設への太陽光発電設備の設置《重点》

○石津保育園(3.5kw、7月)、小川公民館(10kw、3月)に設置

③産業・民生部門の省エネルギーを進める

◆高効率照明(LED等)や高効率給湯器(ヒートポンプ等)などの省エネ機器やトップランナー機器の普及啓発と購入助成《重点》

○商工会議所などに国庫補助事業を紹介

◇省エネ行動を促進するための啓発を実施

○6月環境月間と12月地球温暖化防止月間に広報やいづで省エネ行動を啓発

◇公共施設において設備・機器の省エネ改修を推進

○市内の公共施設内の一部の照明機器をLED化、空調の更新時に省エネタイプを導入

◇漁船の作業灯のLED化など省エネ機器の導入支援

○作業灯をLED化する漁船3隻に補助

◇LED等の省電力型道路照明灯への切替・設置を推進

○市内防犯灯のLED化(25、26年度の2カ年で市内全域実施)

○市道等の道路照明灯のLED化推進・5基設置(道路課、土木管理課、土地区画整理事務所)

④運輸部門の省エネルギーを進める

◇通勤時のマイカー利用の自粛や近距離の公用車使用の自粛

○毎月第3金曜日の属する週をノーカーウィークとしてマイカー通勤を自粛

◇アイドリングストップ、急発進抑制などエコドライブの推進を図るための啓発

○11月エコドライブ推進月間に庁内掲示板で啓発

◇公用車への低公害車・低燃費低排出ガス車の導入を促進

○公用車はすべて低公害車(燃費基準達成車)を購入(4台100%)(再掲)

◇公共交通機関の利用促進を啓発

○ホームページや広報紙で啓発(自主運行バス利用者:年間145,679人/年間目標148千人)

◇放置自転車のリサイクル

○撤去自転車219台の内53台を自転車商業組合志太支部焼津地区に販売(再掲)

環境目標

4 低炭素社会をつくる

取り組み方針

10 低炭素な交通と緑豊かなまち

環境課題

- ・自動車から鉄道・バス・自転車・徒歩などへの切り替えを図るため、歩行者や自転車が移動しやすい環境づくり、公共交通の利便性の向上を図る
- ・都市公園や市の補助金による生け垣は増加しているが、低炭素な都市づくりのためにさらなる緑地の推進が必要

取組状況

①低炭素な交通にする

◇歩道の整備と自転車走行環境の整備を検討

- 市道1160号(中里会館～JA大井川東益津支店付近)において自転車歩行者道を整備

◇既存歩道部への遮熱性舗装や保水性舗装の導入検討

- 維持管理方法やコスト等を含め、関係部署と協議し、南部土地区画整理区域内の歩道実施設計における遮熱性舗装の採用を決定

◆自主運行バス路線の再編やフリー降車区間の設定など、利便性の高い公共交通ネットワークを構築《重点》

- 大井川西部循環線の始発便の起点を変更し効率化を図った

②緑地を増やす

◇新しい公園の整備推進と既存公園の活用を図る

- 新規開設公園として石津西公園、大覚寺公園等の施設整備工事を実施。既存公園の緑化復旧を行い緑化推進を図った

◇生け垣づくり補助制度により住宅地の緑化を推進

- 補助金交付件数18件(年間目標20件)

◆焼津市みどりを育てる条例に基づき、事業場敷地の緑化推進を指導《重点》

- 事業場敷地の10%を緑地として確保するよう指導(緑化計画書受理76件)

◇休耕田などを利用した花の栽培による景観形成

- 農地有効利用推進事業によりレンゲ及び菜の花の種子を配布

◇公共施設の緑化推進

- 地域住民の協力により、公民館の花壇などに草花を植栽

環境目標

5 総合的に取り組みを進める

取り組み方針

11 環境を知り・学び・活動するまち

環境課題

・学校と家庭、地域が連携して取り組むことができるネットワークづくり
・市民関心度の高い環境問題を中心に、環境学習の機会を拡大する
・市民の関心をどう実践に結び付けるか検討し、市民の環境意識の向上を図る
・市民や事業者、地域、市民団体、NPOなどによる自発的な環境保全活動を支援するとともに、協働で実施していく

取組状況

①環境教育・環境学習を行う

◆環境大学等の開校などにより、環境活動リーダーを育てる《重点》

○環境活動リーダー育成研修会を実施(全10回のカリキュラム、受講生22人、リーダー認定20人)

◇環境に関する講座を開催する

○大井川東小学校、焼津中学校で出前講座を開催したほか、公民館でも環境関連講座を開催

◇自然観察会を開催

○親子水生生物教室や瀬戸川動植物体験観察教室のほか、公民館で自然観察会を開催(再掲)

◇家庭版環境マネジメント事業を実施

○和田小4年生80人、黒石小4年生121人を対象に、児童が家庭でリーダーとなって省エネ生活を行い、地球温暖化について学ぶアースキッズ事業を実施

◆ごみ減量出前講座や説明会を開催《重点》

○ごみ減量説明会及びごみ処理施設見学会を開催(計39回2,730人参加)(再掲)

◆農業体験教室を開催《重点》

○お米を知ろうコース4回(田植え、草取り、稲刈り、餅つき)参加者52人(再掲)

○野菜を作ろうコース3回(サツマイモ、枝豆、キャベツ、トウモロコシなど)参加者35人(再掲)

○東益津公民館のマイライス事業8回(粳まき～米粉料理)参加者親子15組計47人(再掲)

(協力スタッフを含め延392人が参加)

②環境情報を充実させる

◇環境教育に役立つ環境マップを作成

○水生生物マップを小学校へ配布

◇環境情報の収集・発信を行う

○環境活動レポートを作成し、ホームページや情報公開コーナーで発信した

◇環境の現状や環境への取り組み状況を年次報告書としてまとめ公表

○環境報告書を作成し、ホームページ、図書館、情報公開コーナーで公表

③参加・協働による環境保全活動を活発にする

◇環境市民団体と協働の取り組みを実施

○環境市民団体と栃山川の清掃活動を計画(雨天中止)

◆市内で環境保全活動に取り組む団体を把握し情報提供など活動を支援《重点》

◇環境基本計画の取り組みを推進するため、市民・事業者を対象とした環境活動登録制度を推進

○環境保全活動登録制度の平成26年度実施に向け検討した

◆地域の環境活動を応援するため活動に対する助成を検討《重点》

○環境活動リーダー研修会受講生から今後の協働について意見を聴取

◆市民・行政の協働により海岸防災林の環境保全を図る《重点》

○地元・市による巡視活動を実施

環境目標

5 総合的に取り組みを進める

取り組み方針

12 環境と経済が両立するまち

環境課題

- ・ISO14001やエコアクション21など環境マネジメントシステムの導入事業者を増やすための普及啓発
- ・グリーン購入や環境配慮製品の開発などの推進
- ・公共工事における環境配慮を統一した取り組みができるよう、環境配慮指針の策定
- ・環境保全型農林漁業、地産地消、エコツーリズムの推進のほか、海洋深層水をはじめとする環境ビジネスの振興により環境と経済の両立を図る

取組状況

①事業活動に環境配慮を織り込む

◇エコアクション21認証登録支援事業の実施

○登録に向けたセミナーを開催(2事業者参加、全5回)

◇家庭版環境マネジメント事業の実施

○アースキッズ事業の実施(再掲)、節電や省エネコンテストのチラシ配布

◇グリーン購入促進の啓発と市役所内での取組の推進

○市役所内で環境推進員を通じ庁内の取組推進と啓発を行った(グリーン購入率98.7%)

◇省エネ法やCASBEE静岡の届出、長期優良住宅認定制度を通じ環境に配慮した建築物の推進を図る

○建築指導課において建築の際の事前相談の時点で設計者に配慮をお願いしている

②環境に配慮した農業・漁業・観光を行う

◇エコファーマーの育成や環境保全型農業の推進

○エコファーマー制度の普及、使用済農業用資材の回収事業準備、環境保全型農業支援事業を実施

◇地域資源の活用や食品加工業者との連携による食育の推進

○学校給食に小川港のサバを使ったメンチカツ、佃煮を使った佃煮ごはんを採用

◇地場産業と一体となった体験型観光の推進

○観光キャンペーン参画事業により、モニターツアーを実施し検証した

③焼津市の特性を活かした環境ビジネスを育成する

◇海洋深層水の利活用促進と知識の普及啓発

○2月開催のスーパーマーケットトレードショーに出店